

厚生労働大臣 福岡 資麿殿

## 治療で使用している薬について保険適用の継続を求める請願

2025年6月18日

埼玉県三郷市彦成4丁目4-3-501

大藤 朋子

### 【請願趣旨】

日本維新の会と自民党、公明党は社会保障削減のために協議体を設置し、国民医療費の「最低4兆円削減」を念頭に話を進め、「OTC類似薬」を保険適用から外そうとしています。

日本維新の会が示した「保険給付から除外する28の薬剤」の中には難病である魚鱗癬の患者が肌の保護のために使用している「ヘパリン類似薬(ヒルドイド)」や、アレルギーを抑えるための「フェキゾフェナジン」なども含まれています。これらの薬が保険適用から外されてしまった場合、患者は治療に必要な薬剤を市販薬として購入することになります。

そうなれば、これまで1回の受診でヒルドイドローション(50g)を20~40本処方されていた魚鱗癬患者の負担は、診察を含めて2千円程度だった医療費が、薬代だけで6万円を超えることになると見込まれています。さらに、OTC類似薬が保険適用外にされれば、難病の医療費助成制度からも外されて、大幅な負担増になります。

今でも、「ヒルドイドの処方量が多い」と診療報酬支払基金から医療機関に指導が入り、処方量が減らされるという事態が度々起きています。

とりわけ、難病という完治することが困難な病気を抱えた当事者とその家族は、少なくないハンディキャップを背負いながら、病気と向き合い、一生懸命暮らしています。

政府・厚生労働省には多くの患者をさらに苦しめるようなことをしてほしくありません。

国民の生存権を保障している憲法25条、個人の尊重と幸福追求権を定めた憲法13条及び、憲法16条の請願権に基づき以下のことを請願します。

### 【請願項目】

- 1, 難病患者が治療に必要とする薬を保険適用から外さないでください。
- 2, 今まで医師が処方し保険適用されていた薬まで、「OTC類似薬」に分類して保険適用から外すことはしないでください。